



泉丘SSHだより

石川県立金沢泉丘高等学校



第13号 H16.3.24
編集: SSH推進室
発行: 新井 健了

「コスモサイエンス」だより

第8号で第6回までの講義についてはご報告しましたが、今回は第7回から第13回の最終回までをご報告します。後半は、数学、工学、生物、医学、薬学と多岐にわたる範囲の講義が行われました。

第7回「直角三角形と素数」

講師 お茶の水女子大学 助教授 横川光司先生

第7回目の講義は本校の先輩である横川先生の数学の講義でした。大学レベルの講義にほとんどの生徒がついていけませんでした。でも一段と数学の魅力に取り付かれた生徒もいました。



第8回「ナノテクノロジーの世界」

講師 北陸先端科学技術大学院大学 助教授 高村 禅先生

最先端の研究機器が揃う大学での研修でした。施設の素晴らしさにみんなが驚いていました。将来このような施設で研究を行いと思った生徒も多いのではないのでしょうか・・・

第9回「工学が支える人間社会」

講師 金沢大学 工学部 教授 森 茂先生

6班に分かれ工学部の様々な分野の施設を訪問し研修してきました。今回の講義で工学部の進路希望が増えたようです。



第10回「遺伝子組み換え実験」

講師 石川県教育センター 指導主事 西岡 登先生

本校の生物実験室において実験を行いました。「遺伝子組み換え」を自分たちの手や目で実際に確かめました。

第11回「DNA鑑定の最前線」

講師 石川県警察本部科学捜査研究所 所長 水野なつ子先生

テレビでよく耳に知る『科捜研』の所長さんから、実際に捜査現場で用いられているDNA鑑定の方法やDNA鑑定による事件解決事案などの講義を受けました。



第12回「医療を目指す君たちへ」

講師 公立能登総合病院 院長 村本信吾先生

「医療人は死生観を」というメッセージを残してくださいました。また、人間が生きていく上で避けては通れない「生老病死」について語ってくださいました。人間科学とも結びつく内容にみんな真剣な表情で先生の講義に聞き入っていました。

第13回「医学の現状と将来・薬学の現状と将来」

講師 金沢大学 医学部 教授 小川 智先生 薬学部 教授 石橋弘行先生

医学部と薬学に分かれて大学での研修を行いました。当日は金大の前期合格発表ということで、新聞に「大学生よりも早く講義を受講」と掲載されました。また、医学部では普段は見せていただけない標本室まで見学させてもらい、とても好評でした。



第2回運営指導委員会が開催されました

今年度最後のSSH事業となる、第2回運営指導委員会が小会議室において開催されました。当日は今年度行われた事業についてパワーポイントを用い報告を行いました。その後、委員の先生方からご意見をいただきました。



平成15年度事業経費 & 平成16年度事業経費

初年度の総予算額2,000万円の要求がすべて完了しましたのでご報告します。

理数理科で使用する理科実験器具等を各種揃え、「日本一実験の多い学校」に向けて研究を進めています。また、白山野外実習やつくばサイエンスツアーなどの野外実習なども充実させました。内訳は右表のとおりです。

平成16年度については、現在先生方から提出された予算要求を元に原案を作成しております。総予算額が1,500万円と今年度より減額となるため、予算案を作成するのにも一苦労です。来年度予算につきましては、JSTとの契約が済みしだいご連絡したいと思います。

講師謝金・旅費	コスモサイエンス	400,720
	人間科学	39,560
	白山野外実習	119,100
	つくばサイエンスツアー	56,200
	課題研究	265,500
	その他	243,960
実習費	コスモサイエンス	454,560
	人間科学	192,171
	白山野外実習	323,000
	つくばサイエンスツアー	1,662,300
	課題研究	1,271,080
	部活動研究費	311,378
	SSH交流会費	344,380
実験器具	理科実験機器	11,132,689
	教材研究費	1,392,604
図書費	研究用図書	264,445
通信費	切手等	42,540
印刷費	報告書等印刷費	762,300
その他	視察・引率旅費等	686,160
	SSH運営費	35,353
合 計		20,000,000

白山・つくば・課題研究の報告書完成！！

今年度実施した、白山野外実習、つくばサイエンスツアー、課題研究発表会の実施報告書が一足先に完成しました。



平成15年度事業報告書は完成まであと一步・・・

前号でお知らせしたように、書き直し作業にとりかかっていた報告書ですが、やっと印刷業者に原稿を渡すことができ、何とか年度内に印刷ができあがる運びとなりました。印刷が出来次第、配布する予定です。

平成16年度計画書を文部科学省とJSTへ提出

文部科学省へは実施計画書を、JSTへは事業計画書、経費説明書及び経費総括表を、県教委を通じて提出しました。まだまだ変更等があるとは思いますが、4月当初から継続してSSH事業を実施できるよう進めています。

アンケート報告

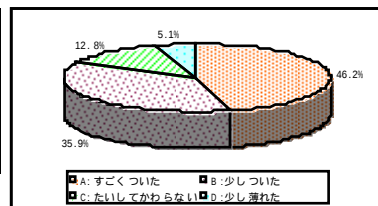
今年度実施したSSH事業に関する、生徒アンケート、保護者アンケート、教職員アンケートの集計がまとまりました。詳細については報告書に記載されていますが、今年度最後の『SSHだより』の紙面にて簡単に報告させていただきます。

生徒

平成16年3月上旬に1年理数科40名に対して、「平成15年度理数科アンケート調査」を行なった。39名から回答があり、回収率は97.5%であった。

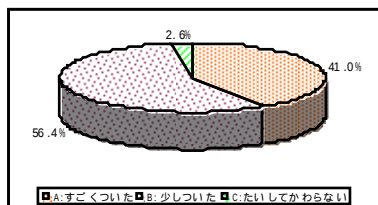
「この1年間で、中学生のときと比べ、科学に関する興味・関心ができましたか。」の問いの結果を右表に示した。32名(82.1%)の生徒が「すごくついた」「少しついた」と答えた。

A: すごくついた	18人
B: 少しついた	14人
C: たいしてかわらない	5人
D: 少し薄れた	2人



「この1年間で、中学生のときと比べ、科学に対するものの見方、考え方が身につきましたか。」の問いの結果を右表に示した。38名(97.4%)の生徒が「すごくついた」「少しついた」と答えた。

A: すごくついた	16人
B: 少しついた	22人
C: たいしてかわらない	1人



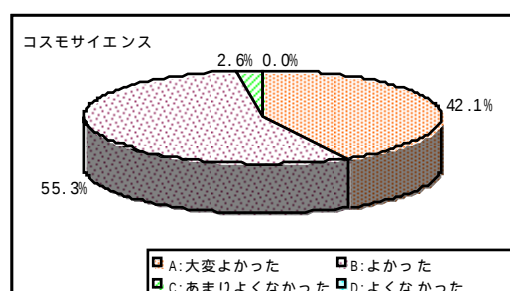
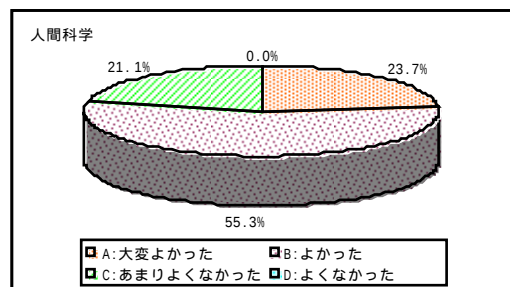
1年間の活動により、生徒の科学に対する興味関心が高まり、科学的なものの見方、考え方が身についたと判断できる。

保護者

平成16年3月上旬に主な研究対象の1年理数科40名の保護者に対して、「平成15年度SSH事業に係るアンケート調査」を行なった。38名から回答があり、回収率は95%であった。

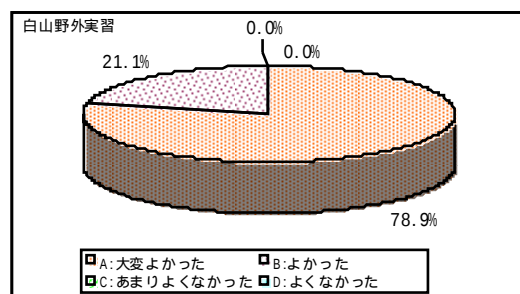
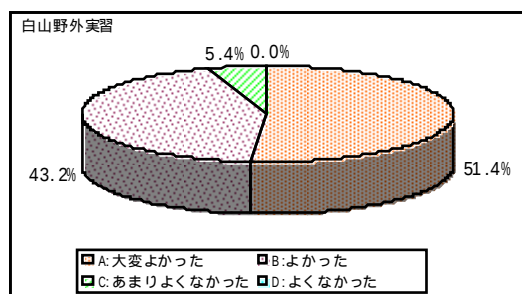
学校設定科目に関する結果を下表に示した。人間科学・コスモサイエンス いずれの科目もA:大変よかったおよびB:よかったの肯定的な意見がそれぞれ30人(79%)、37人(97.4%)と大半を占めた。

学校設定科目	人間科学	コスモサイエンス
A: 大変よかった	9人	16人
B: よかった	21人	21人
C: あまりよくなかった	8人	1人
D: よくなかった	0人	0人



野外実習に関する結果を右表に示した。白山野外実習・つくばサイエンスツアーいずれもA:大変よかったおよびB:よかったの肯定的な意見がそれぞれ35人(94.6%)、38人(100%)とたいへん高い評価をいただいた。

野 外 実 習	白山野外実習	つくばサイエンスツアー
A:大変よかった	19人	30人
B:よかった	16人	8人
C:あまりよくなかった	2人	0人
D:よくなかった	0人	0人



具体的には、「子供が、つくばサイエンスツアーやコスモサイエンス、人間科学の授業を重ねるにつれ、科学的、論理的な考え方もできるようになった。」「能力や興味が違う子供たちが力をあわせたり、できる子を見習ってできるようになったり、目に見えない成果もあったと思う。」の意見があった。

以上の結果より、保護者の方々も本校の取り組みに理解を示し、高く評価いただいていることが見て取れる。

教職員

平成16年3月上旬に教職員に対して、「スーパーサイエンスハイスクール(S S H)に関してのアンケート」を行なった。46名から回答があった。

「S S H指定を受けての取り組みが、学校に対してどのような影響(変化)を与えていると思いますか。」の問いに対して、学校の活性化になった(13人)、外部の関心・評価が高くなった(11人)等の回答があった。「教職員への影響」の問いに対しては、授業の改革意識が高まり質の高い授業を目指すようになった(19人)等の意見があった。「生徒に対する影響」の問いに対しては、「理数科の生徒はもちろん普通科の生徒にも刺激になっている。」「意識が高くなった。」等の意見があった。

以上の結果より、本事業が学校・教職員・生徒それぞれに対してよい影響を与えていると判断できる。

あとがき

S S H室の大掃除から始まった今年度の活動が、もう少し・・・というところまで至り、かび臭かった部屋も、いつの間にか匂いが気にならなくなりました。入学式前日に内定の連絡があり、初年度の研究が開始されたのがつい数日前のような気がします。

今年度の報告書の編成に手間取り、来年度の計画が遅れ気味になっています。でも時間は過ぎていってしまいます。この1年間の反省をもとに、来年度のS S H事業を開始しなければなりません。提出すべき書類は全て提出しました。来年度開講する学校設定科目のシラバスもできあがりました。これを元に、急いで来年度の準備に取り掛かろうと思います。

『S S Hだより』をとおして、今年度の活動状況をご報告してきましたが、何かお気づきの点などありましたら、来年度の研究開発に活かしていきたいと思いますので、ぜひS S H室までご連絡ください。よろしくお願いいたします。